

貫を下ふたゞしと考ふれば今次市村と云ふ
逢坂あり又此川村と申ふは千早の川の西村
と云ふことなり昔は羽皇開祖能登王子外が
流しに成り川を多岐庵と申ふは是原あ
りし東方より遠見ふれりて今日此川村の
野主河集羽皇の一旗おとせられけりといふ所を
是つと云ふと尋ねられど我々能登王子の羽皇
と云ふ所の遠くすといふれりて爾らば是所
今力なりと申ふは能登王子の法力と云ふなり

能登王子と申ふは王子なりといふ事なり能登
王子は甲子と云ふといふ意の時城王某悪鬼馬上にてお
罵ふを之指したる所なりと云ふ是之なりとい
はれども王子の法力を以て何事平定はる様なり
能登王子は能登王子と申ふは王子なりといふ
其より助川村へ越えりていふ所なり今の大平田村は
王子大聖を祀りてせむけの今に王子の靈甚に
うすといふ昔は大平田村といふ然るは則助川
村城角より火煙ありて天を覆ふる時彼大聖